

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア」 ～県外に出た私たちが気づいた鹿児島の魅力～

桜島LOVER 30'S女子

古城 菜津季, 小田 充穂,

古城 翔麻, 他

自己紹介

- 古城 菜津季 (こじょう なつき)
- 鹿児島県鹿児島市出身
- 19歳まで鹿児島市在住、その後県外 (福岡・神奈川) へ
- 里帰り出産のため2021年7月～12月の6か月間
鹿児島にUターン
- 現在は神奈川県に在住のワーママ (子どもは1歳)



背景 ～私たちからみた本港区エリア～

- 本港区エリアは、政治・経済・暮らし・観光のどれをとっても重要な拠点であることは鹿児島島で生まれ育ち、県外に一度出てきたからこそ感じています。
- 30代の私たちは、ただ傍観する立場ではなく、今後も子どもたちに鹿児島島を愛してもらえるようにする責任があります。

インタビューの実施

- このような背景から鹿児島本港区エリアのアイデア募集を知って、30代である私たちは意見を上げなければならないと強く思いました。
- そこで鹿児島出身で一度県外に出てUターンした人にインタビューを実施し、
①県外の人視点、②鹿児島在住市民視点
の両方の観点から要望をまとめました。

インタビューの方法

- 鹿児島出身で、県外に一度出てUターンした友人に、「本港区エリアがどうなったら嬉しいか？」をインタビューしました。
 - ⇒**県外に出たことがあるからこそわかる鹿児島についての声を集めました**
- ① インタビューイー1
 - 30代女性（独身）
 - 今年2月に大阪から鹿児島市にUターン
 - ② インタビューイー2
 - 30代女性（既婚）
 - 7年程度前に熊本からUターン
 - 鹿児島市で結婚出産をした30代ワーママ（子供は2歳）
 - ③ インタビューイー3 兼インタビューアー
 - 30代女性（既婚）
 - 19歳まで鹿児島市在住、その後県外。
 - 2021年7月～12月の6か月間、里帰り出産のため鹿児島在住
 - 現在神奈川県に在住、ワーママ（子供は1歳）



インタビューの結果(1/2)

インタビューを通して見えてきたコンセプトとポイント

コンセプト：**みんなが集える目的地に！**

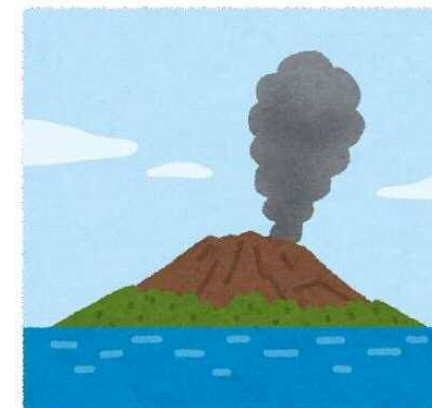
ポイント：①**景観**、②**暮らし**、③**観光**



インタビューの結果(2/2)

エリア利活用の3つのポイント

1. 景観
桜島の景観を崩さない！
2. 暮らし
地元の人が集まる**楽しく便利な場所**に！
3. 観光
桜島 (などの離島) ⇔ **天文館の間**であることを最大限に活かす！



まとめ：エリア利活用の3つのポイント

1. 景観

- **市内から錦江湾と桜島を眺める際の景観を崩さない**
→背の高い建物は控える
- **桜島を眺めながら休憩できる場所がある**
→市民の目的地になってほしい

2. 暮らし

- **晴雨兼用の幼児の遊び場、学びの場がある**
→アクセスが良いこの土地に親子が集うと活気が出る！雨の日の子どもの遊び場にママは困っている
- **子供が遊んでいるときにママも充実した時間が過ごせるとさらに嬉しい**
→趣味や学び、人と地域とつながり、発信できる場所がある

3. 観光

- **コストを抑え、時代に合わせて変化していく場所**
→キッチンカーなど身軽で可変に
- **離島を五感で体験し、行き来したくなる仕掛け**
→コンセプトムービー（視聴覚）や食べ物（味覚）、植物（触覚）など五感で体験できるような場所
- **天文館と本港区のアクセスの向上**
→歩ける近さなのに遠いと感じる現状。まるっと街づくりをして、本港区に集めた人を天文館にも流動させて天文館もさらに活気をつけたい

おわりに ～私たちの想い～

- この土地は**鹿児島の一等地**であることはみんなが知っており、子ども時代を鹿児島市で過ごした私たちにとって**思い出もあり好きな場所**です。
- 私たちは、県外に出たからこそ、**鹿児島の有り余る宝の原石**にたくさん気づくことができました。
- この発表を通して**私たちのような30代の一般女性も本件について真剣に考えている事実**を知っていただきたいです。
- 出てきた意見を参考にいただき、本港区エリアを「**みんなが集える目的地**」にしていだけますと幸いです。

(補足) ①: 景観

- 敷地全体を大きな公園にするといい
- 横に長くて**見る景色もある**と一人でも行きやすい
- 大阪万博公園は**太陽の塔を見ながら座っている**人が多い
- 京都の下町っぽいお店が並んでいたら行きたい
- 大きな公園にしてお店が並んでいたら行きたい
- 鹿児島の良いところは**自然が豊かな**所だと思う
- 桜島が良く見える**ところなので、景観は残したい
- 本港区はドルフィンポートがなくなった今も歩いている人、桜島を見ている人が多い→目的地があるとよいのかな。

(補足) ②: 暮らし

- **市民が定期的に行ける場所**が欲しい
- 鹿児島には**幼児向けの室内の遊び場**がない
- **雨の日も遊べる**屋内遊び場や屋根付きの広場を設置できたらいい
- キッザニアのような**小さいころからキャリア教育**ができる場がほしい
- 日置の城山公園の遊具が新しくなっていた。市長が若返ったから？
- 鹿児島市の人にとって離島がもっと身近になったらよい
- 前あった**ドルフィンポートは観光客しかいない**イメージ、市民があまりいない
- 霧島の子ども館が良かった。公園 + 室内で3フロアありテーマごとの遊び場が設置
- センテラス天文館は入っている店は微妙だけれども、図書館があるから**定期的に市民が行ける**
- 1人でも行きやすい場所があると嬉しい

(補足) ③: 観光

- 前あったドルフィンポートは人が少ないイメージ
- 天文館と中央駅は歩けるくらい近いのに精神的距離が遠い
- 天文館と本港区**は歩けるくらい近いのに**精神的距離が遠い**
- 東京の人は**屋久島旅行に行っても鹿児島市に立ち寄ってくれない**体感がある。鹿児島市にも足を運んでもらいたい。
- 関東や海外からの観光客にとって鹿児島は**九州でひとくくり**にされ、そのうちの一つに過ぎない。旅行を組むにしても、2~4泊で九州を周りたいたいという話はよく聞く。泊数が少ないと、福岡を拠点に旅行を組み、鹿児島は切り捨てられる可能性が高い。
- 観光客に鹿児島のくくりの中に、鹿児島市も他の市もあるし、離島もあるというように、**沖縄や北海道のように「鹿児島」でひとつとしてとらえてほしい**